

**北海道とロシア連邦極東地域との経済協力に関する常設合同委員会
第11回分野別部会 会議録**

日時:平成25年11月22日 10:00～12:10

場所:京王プラザホテル「プラザホール」

1 開会

(篠原経済部国際経済室主幹)

ただ今から常設合同委員会第11回分野別部会を開催したいと思います。

本日の進行役を務めさせていただきます、事務局の篠原と申します。よろしくお願いいたします。

当分野別部会は、ご承知のとおり、経済協力発展プログラムを円滑に推進するため、双方が持ち寄った協議や提案事項などについて実務レベルで話し合う合議体であります。

それでは、はじめに北海道側を代表しまして、北海道経済部国際経済室長の小玉より挨拶させていただきます。

(小玉経済部国際経済室長)

ドブラエ・ウートラ。(おはようございます)北海道経済部国際経済室長の小玉でございます。

北海道の大切な友人でありますサハリン州、ハバロフスク地方、沿海地方の皆様との再会を心から嬉しく思います。

各地方政府の皆様、ミッションにご参加頂いた企業の皆様、ようこそ札幌へお越しいただきました。

今回で11回目を数える分野別部会は、2003年からの第3期プログラムのスタートにあわせて、より具体的かつ踏み込んだ議論を進めるために立ち上げた枠組みであります。

これまで10年にわたり、両地域間の交通ネットワークの整備や、ビジネス環境づくり等に貢献してきたところでございます。

最近でも、北海道の防雪柵をサハリン州トマリ地区に設置するプロジェクトが進められておりますが、これも分野別部会をきっかけとしたビジネスの輪が広がっているところでございます。

しかしながら、北海道とロシア極東地域との経済交流は、まだまだ躍進のポテンシャルを持っていると思っております。

こうした中、様々な課題を乗り越え、我々の関係をよりダイナミックに発展させるためにも、また近しい隣人として、率直に意見を交わすことができる分野別部会の役割は極めて重要でございます。

本日出席の日本側、ロシア側委員の皆様には、是非胸襟を開いて、日本のことわざに襟と胸を開いてという言葉がございますが、その気持ちで地域間の経済関係強化という共通の目的に向かって、議論を深めていただくようお願いし、ご挨拶とさせていただきます。スパシーバ。(ありがとうございました)

(篠原経済部国際経済室主幹)

それでは、次に、出席者のご紹介ですけれども、今日は時間が非常に短く、それから、テーマも多いことから、北海道側からは、お手元にお配りの出席者名簿をもって、ご紹介に代えさせていただきますと思いますがいかがでしょうか。

(クトヴォイ・事務局長代理(在北海道札幌サハリン州代表部))

その提案を支持します。双方ともに名簿を確認するという事で自己紹介に代えたいと思います。

(篠原経済部国際経済室主幹)

ありがとうございます。それでは、早速議事に入ります。

2 議事

(1) 意見交換(北海道側議題)

(篠原経済部国際経済室主幹)

まず初めに、「議題1」の意見交換に入りたいと思います。

提案事項としては、北海道からは、10項目ほど挙げさせていただいております。

まず、①のプロジェクトリストの策定について事務局から説明をいたします。

議題①：プロジェクトリストの策定について

(三本経済部国際経済室参事)

北海道国際経済室参事の三本でございます。プロジェクトリストの策定について、ご説明いたします。

サハリン州、沿海地方とハバロフスク地方につきましては、今年2月に第5期経済協力発展プログラムを策定したところでございますが、今後より一層、具体的な経済交流が進むように、プロジェクトリストの作成に向けて、協議していきたいと思っております。

また、サハリン州につきましては、経済協力発展プログラムに加えまして、9月に新たに友好・経済交流促進プランを策定し、具体的な取組をプロジェクトリスト化すると合意しておりますので、今後、具体的に協議していきたいと思います。

(篠原経済部国際経済室主幹)

只今の説明につきましては、それぞれロシア側3地域に対する質問でございますので、まずサハリン州の皆様からご回答があればお願いいたします。

(クトヴォイ・事務局長代理(在北海道札幌サハリン州代表部))

サハリン州からは、投資・対外関係大臣のコトワ大臣から回答したいと思います。

(コトワ大臣 サハリン州投資・対外関係省)

おはようございます、皆さん。コトワと申します。今回この会議でお会いできて嬉しく思います。サハリン州といたしましては、友好・経済交流促進プラン、5カ年のものと考えている共同プロジェクトのリストをお送りすることができます。サハリン州が2013年に検討してきたプロジェクトがそこに含まれるわけですが、主に3部構成となっております。貿易投資協力の分野、分野別協力といたしまして、燃料エネルギー、インフラ、交通、観光、漁業などで、それともう一つ、快適な住民環境の形成でこの三つでリストを作っていこうと思っております。事務レベルでこのリストをお送りしますので、今後協議を続けていきたいと考えております。

(タラソフ局長 ハバロフスク地方経済発展・対外関係省 対外経済協力・投資局)

おはようございます。ハバロフスク地方を代表しまして、私、タラソフから回答いたします。

現在、ハバロフスク地方から提案しているリストとしましては、三つのプロジェクトを含んでおります。一つ目のプロジェクトが、温室コンビナートの建設です。二つ目が住宅建設コンプレックスの設立で、これは現在ある企業をベースに作るということで考えております。三つ目は、OSB合板製造工場の建設ということで検討しております。現在のところ

分かっています一時的な情報については、日本側にすでに提供しております。

この三つのプロジェクトについては、今後、協議を続けていきたいと考えております。ありがとうございました。

(ストゥップニツキー局長代行 産業貿易省沿海地方局)

おはようございます。沿海地方のストゥップニツキーです。私たちも沿海地方で実施しているプログラム・プロジェクトについては、日本側に常に情報提供しているところです。

今回もプロジェクトのリストを持ってまいりましたので、後ほど情報提供したいと思います。

具体的には、簡単に述べますと、一つ目が経済特区の設立。この経済特区ですが、自動車組み立て工場の「ソラーズ」をベースにしたものとなっております。日本の自動車を今後製造していくための部品の製造ということも考えております。また、漁業クラスターの創設ということも考えております。そして、二つ目のプロジェクトとしましては、観光を発展させようとするプロジェクトも考えております。その中で一つ目には、山にリゾート地を創設するプロジェクトでして、二つ目には、ルースキー島に観光施設を建設するという経済特区です。現在、実際にプロジェクトを行う場所の決定とコンセプトの策定を行っているところです。近くコンセプトの入札が行われる予定ですので、入札が終わればそのコンセプトにそってプロジェクトが実施されていくものと期待しております。そのプロジェクトの中でホテルの建設、公園の整備、ヨットハーバーの整備も考えております。

また、沿海地方では子どもの多い家庭に対して、住宅を建設するための土地を無償で提供するというも行っております。そのプロジェクトがありますので、低層階の建物に興味を持っております。そして、建てた住宅ですけれども、一部が沿海地方政府が買い上げることになりまして、一部は、実際に家庭の方が自分でお金を出して購入できるシステムとなっております。こういった低層階の住宅を建てるための工場や企業に対しても土地の提供について無償で提供しています。ありがとうございます。

(篠原経済部国際経済室主幹)

ありがとうございました。今後、それぞれ個別に事務局と協議してまいりますので、よろしく願いいたします。

議題②：「経済協力発展プログラムⅢ快適な住民環境の形成（コラボレーション）」に係る具体的な提案の検討について

(篠原経済部国際経済室主幹)

次に、②の「経済協力発展プログラムⅢ快適な住民生活環境の形成（コラボレーション）」に係る具体的な提案の検討の協力について、事務局から説明したいと思います。

(三本経済部国際経済室参事)

「経済協力発展プログラムⅢ快適な住民生活環境の形成（コラボレーション）」に係る具体的な提案の検討の協力についてであります。一つには、ロシア極東地域におけます社会的課題を解決するため、北海道では現在、四つのチームを設置いたしまして、提案内容を検討しております。今後、具体的にお互いに協働しながら取り組んでいきたいと思っております。

また、3地域での現地調査を予定しておりますので、今後具体的に現地調査の日程、場所等を決定する際、視察先の選定などにご協力いただきたいと思います。

また、来年の3月までに両国の企業情報や市場動向、貿易環境等のビジネス情報を掲載したサイトを製作する予定があります。登録可能な企業情報などご提供いただきたいと思います。

えております。

(篠原経済部国際経済室主幹)

只今の説明について、再びロシア側からのご回答をお願いしたいと思います。

(クトヴォイ・事務局長代理 (在北海道札幌サハリン州代表部))

現在、四つのグループを作って取り組んでいただいているということで、この分野はたいへん重要な分野と考えておりますので、実際の情報に関しましては、事務レベルで提供してまいりたいと考えております。

3地域ともに、視察先の選定ですとか様々な分野で協力してまいりたいと考えております。

(篠原経済部国際経済室主幹)

ありがとうございました。次に移りますがよろしいでしょうか。

議題③：国家・州レベルでのプロジェクトについて

(篠原経済部国際経済室主幹)

③に移りますが、各国家あるいは州、地方政府レベルでのプロジェクトについて、引き続き事務局から説明させていただきます。

(三本経済部国際経済室参事)

③の国家・地方レベルでのプロジェクトについてでございますが、皆様の地域では様々なプロジェクトをお持ちだと思います。できればその中から、3地域から具体的な取組内容をご提供いただきたいと思います。

(コトワ大臣 サハリン州投資・対外関係省)

現在、サハリン州では、だいたい61のプロジェクトを実行しております。61と申しましても様々な実行段階がありまして、アイデアの段階であるものから終了段階にあるものまで様々です。この分野と限ったものではありません。もちろん経済的な支援も行ってきておりまして、サハリン州政府が出すもの、連邦政府が出すものがございます。また、プロジェクトに関しまして最初から最後まで支援するものもあれば、進捗状況をモニタリングしていただくものもございます。先ほども申しましたとおり、様々な実行段階があるものですから、できあがりつつあるプロジェクトに関しましては、また、事務レベルで情報提供してまいりたいと考えております。

おそらく地方レベルで実施されているプロジェクトよりも、連邦レベルでのプロジェクトにご興味がおありかと思っておりますので、それについても、後ほど事務レベルで情報提供してまいりたいと考えております。

(ポポフ大臣代理 ハバロフスク地方建設省)

ハバロフスク地方にも大きなプロジェクト、中ぐらいのプロジェクト、小さなプロジェクトと色々実施されております。だいたい450程のプロジェクトとなっております。大きなものでいいますと、バーム鉄道の改修・近代化というもの、それと、港湾の経済特区化というプロジェクトがございまして、この二つのプロジェクトに関しましては、連邦レベルの大きなプロジェクトとなっております。

地方レベルでいいますと、木材加工ですとか、水産加工といったものがございます。こういった投資プロジェクトですけれども、地方政府からも必要な資金支援を行っております。

ハバロフスク地方では、投資政策に関する法律を策定しておりまして、それに基づきまして、資金の支援とソフト面の2種類の支援を行っております。

ソフト面の支援ということですが、情報面での支援ということと個々のプロジェクトを連邦プロジェクトにしていくというものです。資金面での支援に関しましては、税制面での優遇支援と国家保証の提供ということで行っております。また、他の形でも資金援助を行うことで投資を促進していくことしております。日本の企業もハバロフスク地方内で投資プロジェクトを実施していくのであればハバロフスク地方の規定による支援を受けることができます。

(ストゥブニツキー局長代行 産業貿易省沿海地方局)

沿海地方ですが、2013年までに166のプロジェクトが実施されておまして、その総予算は、1,260億ルーブルとなっております。そのほかに280ものインフラプロジェクトがございまして、総予算はおよそ2,790億ルーブルとなっております。また、大きな連邦プロジェクトといたしましては、化石燃料の輸送プロジェクトがござい

ます。LNGの工場を建設することもございまして、プロジェクトの期間は、2014年から2018年を見込んでおります。高度に加工したガスに関しましては、2018年に実現し、その後、石油化学工場の建設も予定されております。

また、中・小型船の製造と改修の基盤を造っていくことを予定しております。この中・小型船の改修所ですが、ナホトカとバリショイカーメニ、スラヴァンカの3カ所にある造船所をベースに造っていくこととしております。また、水産加工、漁業に関しましてもクラスターを造りたいということで、現在、冷蔵施設、沿岸地域に加工場の建設を予定しております。

沿海地方では、投資宣言というものを採択しております。また、優遇税制とうものも適用していくこととしております。また、官民パートナーシップをベースにした投資支援を進めていくことも考えております。ありがとうございます。

(篠原経済部国際経済室主幹)

ありがとうございました。

議題④：食品の輸出に関する情報提供について

(篠原経済部国際経済室主幹)

次の④に移りたいと思います。食品の輸出に関する情報提供についてでございます。事務局から説明をいたします。

(三本経済部国際経済室参事)

食品の輸出に関する情報提供についてでございますが、今年のWTO加盟に伴いまして、関税率を徐々に下げるほか、通関検査の簡素化などが図られると伺っておりましたが、現状と今後の動きにつきまして、情報提供をいただきたいと思っております。

(クトヴォイ・事務局長代理(在北海道札幌サハリン州代表部))

ロシア側からは、わりと詳しい情報を書面で提供しております。読み上げても構いませんが、長くなりますので、できれば読んでいただきまして、質問については、後ほど事務レベルで回答することとしたいと思います。

(篠原経済部国際経済室主幹)

他の地域の方は、よろしいでしょうか。

(コトワ大臣 サハリン州投資・対外関係省)

はい、そのとおりです。

(篠原経済部国際経済室主幹)

それでは、そのようにさせていただきます。

議題⑤：アムール川の洪水にかかる生活や自然環境への影響について

（篠原経済部国際経済室主幹）

次に、⑤に移りたいと思います。アムール川の洪水にかかる生活や自然環境への影響についてでございます。事務局から説明いたします。

（三本経済部国際経済室参事）

今年のアムール川の洪水につきましては、関係者の皆様には、お見舞いの言葉を心から述べさせていただきます。この洪水にかかりまして、生活や自然環境への影響と今後の対応につきまして、状況をお話しいただければと思います。

（クトヴォイ・事務局長代理（在北海道札幌サハリン州代表部））

では、ハバロフスク地方からお答えいただきたいと思います。

（ポポフ大臣代理 ハバロフスク地方建設省）

今年は、ハバロフスク地方を含めまして極東全体で、かなり大きな洪水になりまして、水位も史上最高まで上がりました。最大で通常より2メートル上がっております。ハバロフスク地方政府の対策もありまして、被害は最小限に抑えることができました。それをよく示しているのが、この洪水で亡くなった方は、一人もいなかったということです。

環境面での影響ということですが、現在、毎日、水質モニタリングを行っております。このモニタリングですが、12カ所でサンプルを採取いたしまして、58項目の検査を行っております。いくつかの地点でアルミニウムと揮発性フェノールが基準値を超えているのが見られております。しかし、ウイルス汚染といったものは、水源、飲料水に関しても確認されていません。水質に関しましても、長期平均から乖離しているものはありません。現在、浸水して被害を受けました住宅に関しまして、改修の工事を進めているところです。現在、長期避難所に避難している人たちが、およそ2,000人になります。現在、こうした避難民のために、住宅の建設を行っておりまして、来年の末には、皆さんそこに引っ越していただけるようになります。ありがとうございます。

（篠原経済部国際経済室主幹）

ありがとうございました。

議題⑥：防雪柵の設置について

（篠原経済部国際経済室主幹）

それでは、次に、⑥に移りたいと思います。防雪柵の設置についてでございますが、これは、日ロBIZサポートネットワーク丹治代表から説明をさせていただきますと思います。

（日ロBIZサポートネットワーク丹治代表）

おはようございます。日ロBIZサポートネットワークの丹治と申します。

今年の9月にサハリン州で実施されました北海道・サハリン州友好・経済協力推進協議会第15回合同会議におきまして、防雪柵の必要性和今後のプロジェクトの検討について発言があったと思いますが、具体的なサハリン州での今後の計画について情報提供をいただきたいと思います。

（篠原経済部国際経済室主幹）

北海道側から補足説明ございますでしょうか。ノースプラン平田社長、お願いいたします。

（ノースプラン平田社長）

皆さん、おはようございます。皆さんのお手元にトマリ地区の防雪柵の試験設置の報告がございしますが、これについて触れたいと思います。9月の合同会議の時にもお話をさせていただきましたが、トマリの現場に調査に行きまして、その時に色々と感じた事がありまして、当初計画していた季節、気候がより厳しいということが再確認できましたということをお伝えいたします。技術的なことをいいますと、非常に斜めから吹いてくる風ということで、防雪対策技術の中でも、非常に難しい部類に入ります。3月に現地調査を行いました。その後、道路管理局のダニーラチキ副局長とお話しさせていただき、現地の状況を色々とお報告いただいております。我々、当初、柵の延長が少し短いのかと思っておりましたが、報告書にあるとおり、一定以上の効果があると報告を受けました。今後につきまして、もう一冬調査しましょうとダニーラチキさんから報告を受けております。来年の2月に再度、トマリ地区を訪問しまして調査を行いたいと考えております。その際、調査だけでなく雪崩の現場を含めて、調査及び視察を寒冷地技術の会社10社程度で訪問したいと考えておりますので、北海道及びサハリン州にご協力いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

(クトヴォイ・事務局長代理(在北海道札幌サハリン州代表部))

もちろんご支援していきたいと思っております。ご存じのとおりこのプロジェクトの一部は実現しているわけですが、それに加えましてサハリン道路局の委託で道路の吹きだまり防止に関する勧告を行うための調査を行ってるところです。これはトマリだけを対象にしているのではなく、調査の結果次第では、自動車道路に防雪柵を作る見積り作業を行っていくことも考えております。ありがとうございます。

(篠原経済部国際経済室主幹)

ありがとうございました。

議題⑦：雪崩防止対策について

(篠原経済部国際経済室主幹)

それでは、次に、⑦の雪崩防止対策についてでございますが、引き続き丹治代表より説明をさせていただきたいと思っております。

(日ロBIZサポートネットワーク丹治代表)

ロシア極東における雪崩対策の現状とニーズについての情報提供をしていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

(篠原経済部国際経済室主幹)

北海道側補足される方おりますか。平田社長お願いたします。

(ノースプラン平田社長)

お手元に資料があるかと思いますが、簡単に雪崩対策についてお話ししたいと思います。一番最後のページなのですが、今年の9月末にマカロフで雪崩の工事を行っているところの視察に行っていました。この雪崩の対策は、確か地質研究所のカザコフ博士が中心となって色々対策を決めていると思っておりますが、そのカザコフさん含めまして、色々この現場の説明は受けております。実は、北海道の雪崩対策につきましては、法面の中間にコンクリートブロックというものを使って、そこにフェンスを建てる。そういった技術もありますが、特に北海道の場合は、ワイヤーロープで柵を上の方から吊るという技術もありまして、北海道は9割以上はこの工法で行われております。この技術は非常に施工性に優れていることが、まず一つ挙げられます。北海道もサハリン州も比較的、法面の土質や岩質が非常に良くなく、非常にもろいと聞いておりますので、こういう場所でもこの柵は

有効であると思います。コンクリートブロックの場合は、なかなか冬期の施工がしづらいのですが、この工法の場合は多少冬期であっても施工できるという特徴を持っております。この内容につきまして、北海道側では、4社で協力できるのではないかと考えております。サハリン州で現在、行われているとは思いますが、もし困っていることがございましたら、この4社で十分に対応できると思いますので、情報提供いただきたいというふうに思います。

（クトヴォイ・事務局長代理（在北海道札幌サハリン州代表部））

たいへん、有用なご提案いただきましてありがとうございます。サハリン州では、ロシア鉄道の支部と道路局がこの問題について携わっております。確かに技術は異なっております。日本の場合は、まず、斜面を全部コンクリートで固めてしまってから、ワイヤーロープで吊すということになっているようですが、それはたいへん素晴らしいことだと思います。私どもといたしましては、サハリン州の関連の機関にこのようなご提案があったと情報としてお伝えしたいと考えております。こちらの方で専門家が実際に検討してくれると思います。このことにつきましては、水文気象環境モニタリング庁サハリン局の方に問い合わせを行いましたところ、回答いただきましたので後ほど事務レベルでお渡ししたいと思います。ありがとうございます。

（篠原経済部国際経済室主幹）

雪崩対策について、他の地域からはご意見ございますでしょうか。

（ポポフ大臣代理 ハバロフスク地方建設省）

地形が異なっておりますので、サハリン州では困っておりますが、他の地域は大して問題にはなっておりません。

（篠原経済部国際経済室主幹）

ありがとうございました。

議題⑧：健康・保健交流について

（篠原経済部国際経済室主幹）

それでは、次の⑧に移りたいと思います。健康・保健交流についてでございますけれども、事務局から説明をいたします。

（三本経済部国際経済室参事）

⑧の健康・保健交流についてでございますが、ロシアのお医者様、歯医者ですとかリハビリも含むと私ども考えておりますが、その皆様の中で、北海道の医療・リハビリ技術を習得したい、つまり、医療技術交流のニーズは、どの程度あるかというお問い合わせでございます。続いて同じように、ロシアの患者の皆様が、日本の医療、歯医者を含めて、日本の医療に対し、治療やリハビリを受けたいといったニーズは、どの程度あるかといった点についても、併せて情報提供いただきたいと思っております。

（クトヴォイ・事務局長代理（在北海道札幌サハリン州代表部））

ご質問ありがとうございます。医療は大切な分野でして、私たちにとっても優先的な分野であると位置づけております。研修を計画しております。ただ企業や施設を訪問するのではなくて、北海道の病院でサハリンの医師が実務的な研修を受けられる計画です。もちろんその目的は、サハリン州内での医療サービスのレベルを向上させるということです。これにつきましては、きちんと準備を始めておりまして、一つとして医者たちが英語を勉強し始めたということがございます。どうしてかといいますと、日本に研修に行った時に、日本の医者と一緒に同じ画像を見れるようにということをやっております。また、5日後

になりますけれども、サハリン州保健大臣が北海道を訪問することになっております。三つほど課題がありまして、一つが研修ということです。そして救急医療、緊急医療に関してかなり詳細に調べるといことです。また、循環器、心臓系の疾患について詳しく調査をしております。ですのでこの医療の分野は、私たちはたいへん注目をしておりますし、力を注いでいる分野でございますので、今後も北海道側と協力していきたいと思っておりますし、何かの際にはご協力をお願いしたいと思っております。

次に、ハバロフスク地方、回答をお願いいたします。

(タラソフ局長 ハバロフスク地方経済発展・対外関係省 対外経済協力・投資局)

ハバロフスク地方の医療というのはかなりレベルが高いと考えております。ハバロフスク地方には、極東ではここにしかないという医療センターがいくつかございます。そのうちのひとつとしましては、ガンセンター、心臓・外科センター、もう一つがペットセンターです。ペットというのはガンの早期発見に使われる機械です。ですので、設備機器という面では、ハバロフスク地方は、かなり良い状態にあるわけですが、日本側の協力ということでいいますと、日本側の治療、診断の方法論ですとか、そういった経験の部分での協力をお願いしたいと思います。

ハバロフスク地方といたしましては、四つの方向性で進めていきたいと考えております。

一つ目が、研修の実施です。ハバロフスク地方の医師を北海道の医療機関で研修したいと思っております。二つ目に、共同で治療法の改善を行いたいということです。三つ目ですけれども、共同研究ですとか学術的、教育的、実務的な会議やセミナーの開催を共同で行っていききたいということです。そして、四つ目ですけれども、必要があった場合にハバロフスク地方の患者を北海道の医療機関に紹介、派遣して治療していただきたいということと、それに加え遠隔診療をしたいということです。ありがとうございます。

(ストゥップニツキー局長代行 産業貿易省沿海地方局)

沿海地方ですけれども、ウラジオストクにロシアで初めて、日露共同の合弁で医療センターができております。主に予防と診断を行っております。設備もかなり良いもの、日立製のものを入れているのですが、これはたいへん良い協力の例だと思いますので、今後、発展させて行ければなと思っております。ありがとうございます。

(篠原経済部国際経済室主幹)

どうもありがとうございました。

議題⑨：木材産業関係情報の提供について

(篠原経済部国際経済室主幹)

次に移りたいと思っております。⑨の木材産業関係情報の提供について、これにつきましては配付してあります資料にあるとおり、この様式で2週間後までに情報の提供をお願いしたいと思います。

(クトヴォイ・事務局長代理 (在北海道札幌サハリン州代表部))

3地域とも、この表に書き込みまして、事務レベルで提供いたします。

議題⑩：サハリン州と北海道食品産業協議会との協力について

(篠原経済部国際経済室主幹)

ありがとうございます。それでは、最後になりますけれども、⑩のサハリン州と北海道食品産業協議会との協力についてでございます。北海道食品産業協会の田中専務から、ご説明をお願いしたいと思います。

(田中専務：北海道食品産業協議会)

ビジネス環境の整備の提案に入る前に、20日そして21日までの昨日までの経過について、その成果について、ご報告を申し上げます。このことは4月24日東京において開催された、ビジネスマッチング、そして9月にサハリン州においてサハリン州知事と北海道知事との協約に基づいて進展している経緯でございます。今日ご提案申し上げる中身について、すでにこの20日にサハリン州の方から、ご提案を頂きまして、人材育成のそして食品の安心・安全等に関わるワーキングの設定について協議頂きました。まず、最初に19日につきましては、人材育成これについては、モスクワの衛生局と日本の厚生労働省との法律の違いから、食品に用いる添加物このことにつきましても、ワーキングの中で協力して、これからも進んで行こうと、第2回目のワーキングにつきましては、12月の18日から25日までの間に第2回目のワーキングプロジェクト会議を行うことになりました。このワーキングのセッティングにつきましては、ヤクシャ副大臣とサハリン州家畜保健衛生所の所長様の立ち会いのもと、進めて行きました。ありがとうございます。次にGOST-Rの取得につきまして、特に副大臣にご協力頂きまして、その可能性が見えてきましたことと、又私どもが、12月の22日、23日にユジノ市で開催する食品の展示会について格段のご支援賜り、誠に感謝申し上げます。

さて、具体的な提案を致します。サハリン州と北海道食品産業協議会との協力の内容について申し上げます。ご覧のように、北海道食品産業協会は、サハリン州との協力発展について次のように提案をいたします。その一つは、食品産業振興センターの設立について提案し、食品製造における安全・安心に関わる人材育成及びビジネスの拠点の協力をお願いいたします。1番目の提案につきましては、すでに19日におきまして、人材育成ラボの設置で共通の認識に立ってワーキンググループの設置を頂きました。今後もワーキンググループの協議によって、進展していこうと一致しました。一早い対応に感謝を申し上げます。2番目には、北海道及びサハリン州とのビジネスの拡大の為に、双方の企業と共催で各種イベントを開催したいと思っておりますので、ご支援をお願い致します。このことにつきましては、北海道ロシア協会の鈴木様の方と連携し、進めることとしております。来年の9月頃を想定して、これから作業に入る予定ですので、是非多くの企業の方々が北海道でのこのイベントに参加くださるよう、ご協力お願い申し上げます。三つ目ですが、サハリン州の食品産業に関わる企業と食品産業振興及び貿易の拡大に関する情報交流会議を定期的にサハリンと北海道で進めてまいるので、可能な限りご協力を賜りたいと考えております。最後になりましたが、ソチ・オリンピックが成功裏に終わることを願っております。

ありがとうございます。

(クトヴォイ・事務局長代理（在北海道札幌サハリン州代表部）)

田中さん、たいへんすばらしい発表ありがとうございます。2013年は、たいへん重要な年でありまして、北海道とサハリン州が提携して15周年、田中さんとの交流も10年を迎えました。10周年を記念しまして、サハリン州政府と北海道食品産業協議会と協定を結ぶことができました。そしてその枠内で、様々なイベントを計画しております。そして北海道食品産業協議会の井原様にはたいへん感謝しております。ありがとうございます。田中さんにつきましても、ステップバイステップで常に前を向いて進んでおられることをたいへん嬉しく思っております。また、北海道食品産業の振興にご尽力いただいていることに感謝いたします。

食品衛生に関しまして、ドロゴクプリャより説明します。

(ドロゴクプリャ庁長 サハリン州家畜衛生庁)

こんにちは。もちろん食品の安全については、たいへん重要な問題であります。人々の健康に直接関わってくるからです。食品産業振興センターの設立につきましては、サハリン側でも既にワーキンググループを作っております。11月20日の段階で、北海道側にその旨、お伝えしました。北海道食品産業協議会から具体的な質問をいただいておりますが、回答につきましては、12月にサハリン州で展示会・見本市を行うときに、回答したいと思います。ありがとうございました。

(2) 意見交換（ロシア側議題）

議題①：建設部門～建設用地の割当て（購入）の手順（手続き・規則等）・地区の総合建設（開発）の順序（手続き・規則等）・住宅の受領、冬期、販売の順序（手続き・規則等）短工期住宅の建設、地区の関連付け、建設文書作成期間、建設期間等（篠原経済部国際経済室主幹）

ありがとうございました。今度はロシア側からの話題ということで、続いてよろしくお願いたします。

(ポポフ大臣代理 ハバロフスク地方建設省)

ハバロフスク地方からもいくつか質問を送らせていただきました。具体的には、建設用地の割当て、購入の手順ですとか、住宅の受け渡し、登記、販売などの手順。それから、短工期住宅の建設につきまして、情報交換をしていけたらと思います。

(篠原経済部国際経済室主幹)

ありがとうございます。これにつきましては、事務局から回答したいと思います。

(三本経済部国際経済室参事)

今回いただいたご質問は、たいへん幅広い内容となっております。そのためこの場でお答えするには時間が足りなくなりますので、今後、詳細な説明をお聞きしたうえで、後日回答とさせていただきますと思います。

(ポポフ大臣代理 ハバロフスク地方建設省)

はい、もう少し質問を具体化して、今後、事務レベルで協議を続けたいと思います。

議題②：観光分野～航空路線（ハバロフスク～札幌）便の最適化（2014年8月にハバロフスク市で開催予定の第1回国際クリエイティブツーリズム・フェスティバルの行事への北海道からの代表団の参加）

(ポポフ大臣代理 ハバロフスク地方建設省)

次の質問ですが、交通輸送関連の質問でして、この中に二つ、具体的な質問が含まれております。一つは航空路線で、ハバロフスクと札幌を結ぶ航空路線の問題でして、もう一つが、第1回国際クリエイティブツーリズム・フェスティバルを2014年8月にハバロフスクで開催するのですが、そちらへの参加要請ということです。

(篠原経済部国際経済室主幹)

国際航空路線につきましては、北海道航空局からご説明したいと思います。

(天野主査 北海道総合政策部航空局)

航空路線に関しまして、はじめにハバロフスクと北海道の航空ネットワークですが、主なルートといたしましては、一つ、ハバロフスクからユジノサハリンスクを経由して新千歳へ行くルート、二つ目としまして、ハバロフスクから成田空港を経由して新千歳へ行くルート、三つ目といたしまして、ハバロフスクからソウルを経由して新千歳へ行くルートがございます。

次に北海道側の支援策についてであります。定期便を再開する場合につきましては、一着陸あたり15万円又は30万円の補助を予定しております。詳しくは資料をご覧くださいと思います。なお、チャーター便を運航する場合にあたりましては、着陸料を2分の1と軽減させております。

次に国際クリエイティブツーリズム・フェスティバルへの参加についてであります。たいへん恐縮ではあります。現時点では、情報が十分ではないので、今後詳細な説明をお聞きした上で、関係部局や関係団体と調整の上、回答させていただきたいと思っております。

(ポポフ大臣代理 ハバロフスク地方建設省)

はい、わかりました。ありがとうございます。

議題③：ビジネス及び貿易協力の発展分野（2014年にハバロフスク地方で開催される見本市・展示会等の事業への北海道ビジネス界の参加・2014年に相互的なビジネスミッション、両地域のプレゼンテーションの実施）

(ポポフ大臣代理 ハバロフスク地方建設省)

もう一つの質問ですが、北海道のビジネス界の方々にハバロフスク地方で2014年に開催される展示会や見本市に参加をしていただきたいと思いますというものです。実際のイベントにつきましては、既に北海道側にお送りしておりますのでそれで検討していただいて、是非お越しいただきたいと思っております。

(篠原経済部国際経済室主幹)

これについては、事務局から回答したいと思います。

(三本経済部国際経済室参事)

ご提案ありがとうございます。ハバロフスク地方で開催されます展示会・見本市等への参加については、詳細の情報をお聞きした上で、検討したいと思っております。北海道といたしましては、2014年にハバロフスク地方で、ビジネスに関するプレゼンテーションを行う計画を持っております。

(ポポフ大臣代理 ハバロフスク地方建設省)

たいへん嬉しいことでありまして、是非、いらしてください。できる限りの支援をしてまいります。

議題④：ガス化等について

(クトヴォイ・事務局長代理（在北海道札幌サハリン州代表部）)

サハリン側からも質問がございまして、ガス化に関するものです。ガス化インフラ発展庁のレウトフさんから話をしたいと思います。

(レウトフ副庁長・ガス化インフラ発展庁)

皆さんこんにちは。2008年からサハリン州では積極的にガス化を推進しております。特にガス化の中で注目していることは、ガスの安定供給というところです。こういったことかといいますと何か緊急事態が起こったときにガスが自動的に止まるような設備ですとか、あるいは人的要素で何か起きたときに安全を確保できるようなシステムということですね。ご承知のとおり北海道とサハリンは地震が多い地域でありますので、地震が起こったときにガスの供給をガスの消費者に対してもそうですし、ガス網自体にも供給を止めるようなシステムが必要と考えております。私たちは、北ガスの研修センターにおじゃましたときに、北海道には二つのこういった設備があることを知りました。一つには自動弁で何かあったときにはガス供給を止めるということ、もう一つはガスの何か起こったときに計

器の方が関知して止めるというシステムです。

お願いなのですが、そういった設備を作っている工場、作っている設備の仕様について情報提供していただきたいと思っております。そういった情報を検討させていただいて、サハリンでも使えるものかどうか検討させていただければと思います。これが一つ目です。

昨日のビジネスミッションでのオープニングでもホロシャビン知事からお話があったかと思いますが、サハリン州では現在、ガスプロムと州政府共同で自動車のガス燃料の移転ということを進めております。この話は、公共の交通機関をガス化していくということなのですが、それ以外に民間の自家用車というものもございます。それにつきまして、日本の設備につきまして乗用車をガスの燃料に移転するための設備ですが、何か入れ替えてガス化できる設備につきまして、情報を提供いただきたいということが一点。もう一つが都市ガスでの補給といいますか、自動車へのガス補給、メタンですが、できるとすればそういった設備についての情報をご提供いただければと思います。

ありがとうございます。

(篠原経済部国際経済室主幹)

北海道側の回答は、事務局からお願いします。

(三本経済部国際経済室参事)

日本では3年に1度の頻度で建物内のガス配管からガス漏れがないかといった点検が義務付けられています。また、個人の住宅ではガス漏れなどガス設備の異常を検知する機能があるガスメーターというものが設置されています。万一、ガス漏れが発生した場合にすぐに漏れた箇所へのガス供給を遮断できるようなバルブを建物へガスを供給する敷地境界付近に設置しています。先ほどのお話の自動弁といったものになるかと思いますが、そして、建物内でガスを使用する場所には、ガス漏れ及び一酸化炭素を検知する複合型ガス警報器の設置が必要となっております。こういった設備の製造工場等の情報につきましては、ただいま手に持ち合わせがありませんので、後日、回答いたします。

次に2問目、天然ガス自動車の有効性についてですが、燃料の石油依存から脱却して多様化できることと、また、自動車からの排ガスの窒素酸化物、二酸化炭素、黒煙、粒子状物質、PMなど環境負荷のある成分が少なくなることが挙げられると思います。また、ガソリンや軽油との価格差次第では、たいへん経済性が高いものとなると思います。

次に、天然ガス自動車への燃料供給装置・設備の技術的特徴でございますが、ガスを高圧にするための圧縮機、また圧縮ガスを蓄えるタンクを装備した設備が、燃料供給スタンドに必要となります。また、天然ガス自動車の燃料容器及び燃料ガス配管類の定期的な点検が必要となります。また、北海道としても、また日本としても、天然ガス自動車は一部業務用として導入し始めたという段階です。

(クトヴォイ・事務局長代理(在北海道札幌サハリン州代表部))

回答ありがとうございます。ガスに移転するのは自動車、ガス化全体を含めてたいへん有用なことだと思います。また、日本の設備機器に関しましては、最先端に行くものですので是非とも検討させていただきたいと思っております。また、私たち専門家の北海道での研修についても、今後も是非とも続いていきたいと思っております。また、自動車をガス燃料に移転する際の費用についても教えていただきたいと思っております。このガスを移転するという分野は、かなり優先的な分野と位置づけております。

また私たちは、もう一つ質問がございまして、コロトウシキン漁業庁長官からお願いしたいと思います。

(コロトウシキン庁長・サハリン州漁業庁)

皆さんこんにちは。近年、漁業分野で、サハリン州から北海道への輸出は、減ってきております。2012年と比べますと2013年で、およそ1万トンの減少となっております。サハリン州政府といたしましては、海洋水産資源の日本への輸出の増加についてたいへん関心を抱いております。先ほど北海道側から、北海道とサハリンは気候がたいへん似ているとの話がありました。ですのでサハリン州が持っている昆布の採取と加工のポテンシャルは、かなり大きいものがございます。私からの提案は具体的なものでありまして、昨日のビジネスミッションでもお話ししましたが、合弁企業を立ち上げまして、サハリン州内で昆布の採取と加工を行い、日本への輸出額の拡大を図りたいと思っております。この件については、田中さんがおっしゃった2項目目、3項目目に当たるのではと思います。ありがとうございます。

(篠原経済部国際経済室主幹)

今のご発言につきましては、こちらからの回答は、この場では差し控えさせていただいて、聞き及びしたことといたします。よろしいでしょうか。

(2) 次回分野別部会の開催について

(篠原経済部国際経済室主幹)

それでは、議事の2番目に移りたいと思います。次回の開催について協議したいと思っております。北海道側から提案いたします。

(三本経済部国際経済室参事)

次回の第12回分野別部会について、北海道で開催することを提案します。

(篠原経済部国際経済室主幹)

これについてロシア側からご意見ございませんでしょうか。

(クトヴォイ・事務局長代理(在北海道札幌サハリン州代表部))

ロシア側はその提案を支持します。

(篠原経済部国際経済室主幹)

ありがとうございます。第20回の定例会議についてはいかがでしょうか。

(クトヴォイ・事務局長代理(在北海道札幌サハリン州代表部))

前回の定例会議の際に、一定の合意を得ておりまして2014年の会議につきましては、ウラジオストクで開催することとなっております。ウラジオストクの代表がおりますので、前回の合意がまだ生きているのか、ウラジオストクで開催できるのか伺いたいと思います。

(ストゥプニツキー局長代行 産業貿易省沿海地方局)

2013年に行われました前回の定例会議では、次の定例会議は沿海地方で行うことが合意されております。現在、事務局が準備作業を進めておりまして、何月に行うかについて検討中でございます。事務レベルで具体的な開催時期について、詰めてまいりたいと思います。ありがとうございます。

(篠原経済部国際経済室主幹)

ありがとうございました。以上をもちまして本日の意見交換、議事は全て終了いたしました。

(三本経済部国際経済室参事)

一つ確認したいことがあります。この会議へのアムール州の参加意向があると聞いておりまして、今回、残念ながら参加がかなわなかったのですが、次回、オブザーバーとして参加するというので声をかけたいのですが、よろしいでしょうか。

(クトヴォイ・事務局長代理(在北海道札幌サハリン州代表部))

私どもは、たいへん賛成です。アムール州だけでなく、例えばカムチャツカ地方など他の地方も招いていただければと思います。どうですか。それについては。

(三本経済部国際経済室参事)

カムチャツカは、ご希望があればオブザーバーでご参加いただくということではないでしょうか。

(クトヴォイ・事務局長代理(在北海道札幌サハリン州代表部))

では、その方向で進めてまいりたいと思います。

(篠原経済部国際経済室主幹)

それでは、事務局同士でメモランダム調整をさせていただいて、取りまとめたいと思います。今お配りしておりますメモランダムに事務局の代表者、双方の署名を行いたいと思います。

※三本参事とクトヴォイ・事務局長代理による署名

(篠原経済部国際経済室主幹)

ありがとうございました。

以上をもちまして、第11回分野別部会を終了いたします。今後も、ロシア極東地域と北海道との経済交流をはじめ、様々な分野において交流の推進を図って行きたいと考えております。皆様方のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

(クトヴォイ・事務局長代理(在北海道札幌サハリン州代表部))

北海道側の皆さん、どうもありがとうございました。北海道側からアムール州を招待したいという提案を嬉しく思いますし、私どもとしてはカムチャツカもオブザーバーとして招待できればと思っております。こうしていくことによって、我々の地域の協力が発展していくと思いますし、極東地域と北海道との協働というのが進んでいくものと思います。将来的に私たちの協力関係の幅を広げていく、他の地域を含めて広げていくことに関しましては、今回外務省の担当も出席しておりますので、そちら側からの支援もあると期待しております。今日は本当にありがとうございました。

(了)